

平成28年度

総務部 組織目標設定シート

組織の方針	今年度の目標設定		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)
<p>組織の基本方針又は使命</p> <p>地方分権の進展により、地方自治体に自己決定・自己責任が求められている中において、市の業務の総合的な管理と職員の育成を進め、適正かつ公正で、透明性が高く、効果的な行政を進める行財政運営の基盤を確立する。</p>	<p>組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に</p> <p>1.行財政改革の推進</p> <p>2.市制20周年記念事業の実施</p> <p>3.固定資産台帳(公会計)の整備</p> <p>4.ストレスチェックの実施</p> <p>5.旅費規程の見直し</p> <p>6.情報セキュリティの強化</p>	<p>どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか</p> <p>・市が将来にわたり持続的に発展するために、行財政改革を推進する。</p> <p>・平成29年4月に市制20周年を迎えるにあたり、記念式典のほか、市民参加の各種イベントや事業を行う。</p> <p>・現在運用している公有財産管理システムを基に、財産所管課における公有財産の現状把握を促進し、本市の固定資産台帳の整備に取り組む。</p> <p>・近年、メンタル不調による休職者の増加が社会問題化する中で、その対策の一環として、労働安全衛生法が改正され、事業主の義務として、ストレスチェックを実施する。</p> <p>・旅費の日当について、国の定める日当額及び京都府下の各市の支給状況によると、比較的、本市は不支給エリアが狭く、距離に対して高額となっている。日当の支給額の見直しを具体的に検討し、適当と思われる額の支給、または廃止を行う。</p> <p>・情報セキュリティ強靱化のため、情報セキュリティ対策に取り組む。</p>	<p>重点目標項目を実現するため行う活動や手段</p> <p>・「新行政改革実行計画」を施行し、進捗管理を行う。 ・「行革フォローアップ計画」の総括・まとめを行う。</p> <p>・20周年実行委員会や検討部会において記念事業等を決定する。 ・平成28年度中に予定しているプレ事業、記念事業を実施する。</p> <p>・公会計について、庁内への周知及び固定資産台帳作成に必要なヒアリング等を行う。</p> <p>・近隣市等の情報収集を行う。 ・実施方法の検討を行う。 ・衛生委員会での協議を行う。</p> <p>・京都府下における支給状況の把握及び課題点の整理を行い、日当の支給額の見直しを具体的に検討する。</p> <p>・個人番号利用事務(基幹業務)系ネットワークの論理的分離等必要となるシステムを導入する。</p>